

Advertising Works

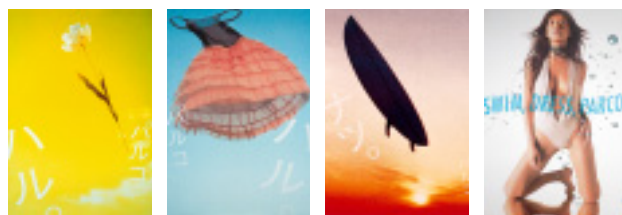
2003年のスプリング・キャンペーンは「Miracle?」をテーマに、新しいことが始まる春をワクワクするような不思議な映像で表現し、元気なパルコをアピールしました。

また6月には「PARCO GIFT DAYS!」と銘打ち、年間を通じてのパーソナルギフトの需要拡大を目指した長期キャンペーンをスタートさせました。

■2003年 春夏 「Miracle? キャンペーン」



■2003年 春夏 「ハル。パルコ」「ナツ。パルコ」



■2003年 夏 「おくりものになるう PARCO GIFT DAYS!」



■2003年 夏 「グランバザール」



■2003年 秋 「Parco Autumn」



PARCO

株式会社パルコ

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町4番3号

TEL: 03-3477-5731 (総務担当)

<http://www.parco.co.jp/>

第65期中間事業報告書

2003年3月1日～2003年8月31日

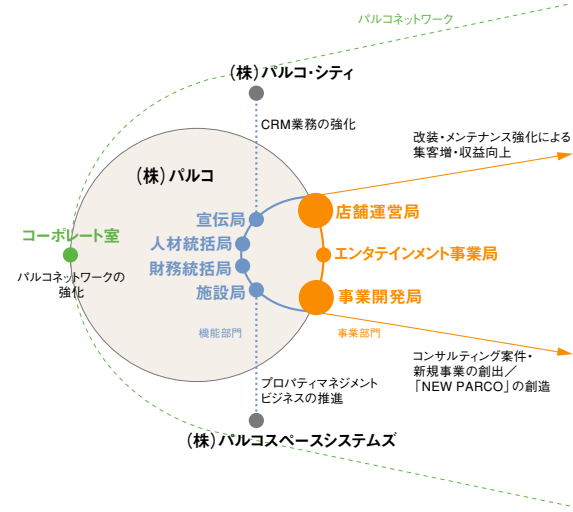


経営構造改革の第2フェーズへ。

代表執行役社長 伊東 勇

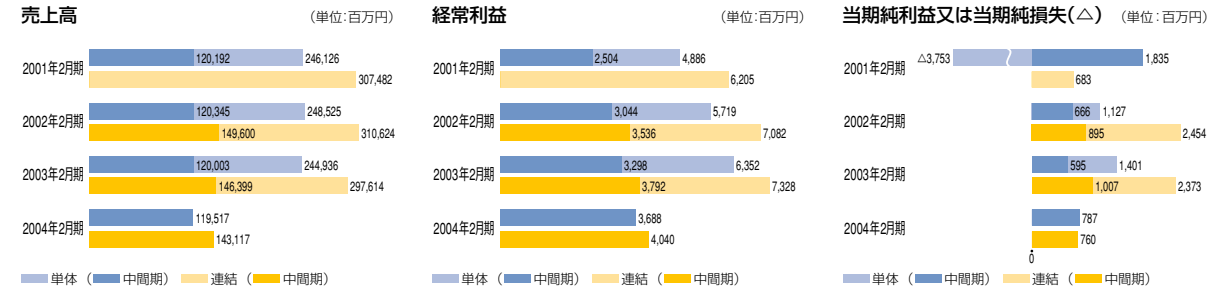


■ 新しい業務執行体制



改革の成果を踏まえ、2003年度より、さらに経営・執行体制を強化。

当社を取り巻く事業環境は、冷夏の影響、緩やかなデフレの進行、厳しい雇用環境の下、企業間競争が激しさを増す厳しい状況が続いています。このような状況のもと、PARCOは引き続き札幌、名古屋、広島などの基幹店を中心とする大規模な店舗改装に取り組むと同時に、通年のギフトキャンペーン企画「PARCO GIFT DAYS!」、夏のグランバザールなど営業企画策の継続による成果を追求してきました。また、これら日々の業務を支える執行体制の改革をさらに一歩進め、合理的かつ効率的な業務体制の再構築をめざし、事業開発局、コーポレート室の新設、「機能部門」4局の個別ミッションと役割の洗い直し(※)を含む新しい執行体制を2003年度より導入しました。「業務執行体制の強化」と対をなす「経営体制の変革」についても、2003年4月の商法改正によって選択的に導入が可能になった「委員会等設置会社」



(注)当社は2001年2月期末より連結会計となり、同中間期については連結数字を記載しておりません。

への移行を2003年5月の定時株主総会における決議承認で決定し、2003年度から導入しています。これら執行・経営体制の強化により、より機動的・効率的な業務執行と透明性の高い経営をめざしていきます。さらに、経営理念とする「訪れる人を楽しませ、テナントを成功に導く先見的、独創的、かつホスピタリティあふれる商業空間の創造」を実現に結びつけるために新しく「10の行動指針」を定め、社員一人ひとりの改革意識をさらに高め、全社一丸となって経営構造改革を推進していく考えです。

新規事業の創造へ。そして、PARCOネットワークの市場価値向上へ。

新設の事業開発局は店舗開発業務とストアプランニング機能を集約した組織で、マーケティング、プランニング、テナントリーシング機能など、ディベロッパー・PARCOの開発スキームの核心にあるノウハウを効果的かつ効率的に強化していくことを狙っています。具体的には、新しい「PARCO」の創造やコンサルテ

ィング案件など商業施設づくりを進める新規事業の創出を担うほか、新規案件以外にも、「PARCO」各店へのストアプランニング支援や定点観測によるストリートマガジンの分野を切り拓いたWebマガジン「Webアクロス」の運用など、マーケットにおけるPARCOの競争力強化に寄与するさまざまなプロジェクトを担い、本業強化を強力に牽引、推進していきます。また、コーポレート室は、PARCOおよびネットワーク各社の経営計画、資本政策などを立案・実行する経営企画機能を有し、子会社の成長性やグループとして発揮されるシナジーについて明確な基準をもとに精査し、事業会社の売却や清算も視野に、事業構造改革に取り組んでいきます。同時に、経営トップとネットワーク社員間の経営目標の共有化や、株主をはじめとした多様なステークホルダーとの円滑なコミュニケーションを図るコーポレートコミュニケーション機能も併せて担い、PARCOネットワークの市場価値の向上をオペレートしていきます。

※機能部門各局の役割

- 宣伝局**
コーポレートキャンペーンや「PARCO」全店における共通販促企画から個別店舗の企画まで、ブランドリレーションと販売促進企画をキーワードに、各店の集客を強化します。
- 人材統括局**
採用、教育のほか、社員の意識改革、モチベーション向上を促す人材戦略やリスクマネジメント、コンプライアンスに関する体制づくりなど、総務業務と人材業務を担います。
- 財務統括局**
連結経営を支える財務戦略の立案、実施およびナレッジ共有の仕組みづくりを行うとともに、情報インフラの整備など基幹システム業務を担います。
- 施設局**
「建築企画・施工管理」、「ビルメンテナンス」、「管財」に関する業務を行い、商業施設の資産価値および機能の向上を推進します。

フラッグシップショップの全館リニューアル始動！

マーケットで存在感を発揮する「NEW PARCO」を創り上げたい。



名古屋店長 平野 秀一

名古屋は市内通勤圏人口が760万人にもものぼる、国内でも有数の都市部集中型マーケットで、中心部である地下鉄「栄」駅周辺は、昔から地元の大型老舗百貨店などが集中する激戦区でした。1989年、この中心部から一駅南に下った外れに、「名古屋PARCO」は、ファッションを中心とした強い個性をもつ多数の専門店と映画館やライブスペースなどカルチャー的要素を兼ね備えた複合商業施設として、後発のデビューを果たしました。以来、若年層を中心にファッションにこだわりを持つ人々に受け入れられ、今ではこの地域は「栄ミナミ」エリアとして認知され、大津通りはファッションナブルな人々が行き交うストリートとして発展し、そのさらに南に広がる大須商店街へと続く導線を生み出しています。

そこで、来年迎える15周年に向け、こうしたマーケットにおける「PARCO」のポテンシャルを最大限に引き出そうというのが改装の基本的な考え方です。具体的には、名古屋初となる専門店の導入やライフスタイル提案型フロアの構築など、既に2002年から2003年までの2年間で全館面積の1/3に相当する168区画、13,400㎡の改装を終えており、3館の機能も「西館—スタンダード」「南館—ADVANCE(先端ファッション)」「東館—ストリートカルチャー」と再定義し、さらに連絡通路のある2・3階、7階を関連フロアとして再編集することで、各館の横断的な回遊性を高める商業空間づくりを行っています。また、大津通りに面した西館エントランスの入り口を広げ、2階までの吹き抜けやガラス張りによるシースルー仕様とし、開放的な外観イメージを演出しました。2004年には、西館のレストランや東館の改装も予定しており、今後も、「自分らしいこだわりある生活を楽しみたい」というライフスタイルニーズに応え、「都会的なセンスのある場」としてのブランドイメージをより強化することで、「PARCO」ならではのマーケットポジションの確立をめざしていく考えです。



4F「ブームショップ」

南館

上層階(7~10階)に「フランフラン」などのカジュアルインテリアと生活雑貨を中心にした店舗を集積。4Fではスポーツ系ブランドで名古屋初登場となる「アディダス オリジナルス SIS」や「ブームショップ」の大型スポーツファッションブティックなどスポーツウェアのカジュアルユースファッションを強化しています。



1F「パンゾー」

西館



1F「サマンサティアラbyサマンサバサ」



B1F ライフスタイルフロア「スタイル・デリ」

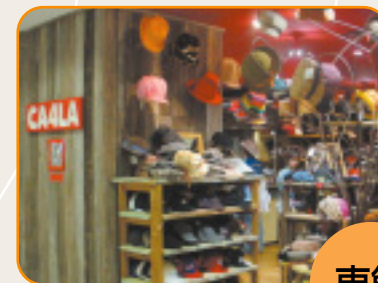
2002年よりファッションの魅力アップに向け取り組み、今秋は、「パンゾー」やベッカム夫人ビクトリアがプロモーションモデルのジュエリーショップ「サマンサティアラ」など名古屋初登場となるショップや人気セレクトショップを導入。地下1階はヤングOLの憩いの空間をプロデュースし、雑貨や小物、カフェなどの魅力的な店舗を集積した「スタイル・デリ」として全面リニューアルしています。



1F「スピック&スパン フレームワーク」



4F「アディダス オリジナルス SIS」



3F「カシラ」



1F「コンバース」

東館

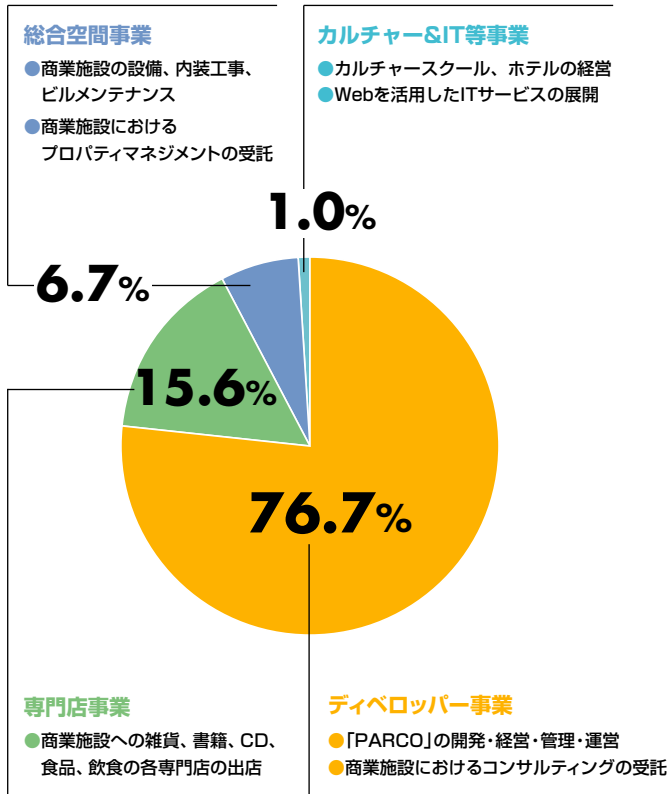
今秋、新たに名古屋初登場となるバッグ・小物ショップ「コンバース」などを導入。雑貨からCD、楽器、書籍、スポーツなどの多彩な商品と映画館やライブスペース「QUATTRO」の多彩なコンテンツを通じて、カルチャー館としてのコンセプトを強化しています。



4F「フレッドペリー」

「都市型商業ディベロッパー」として、グループシナジーを追求。

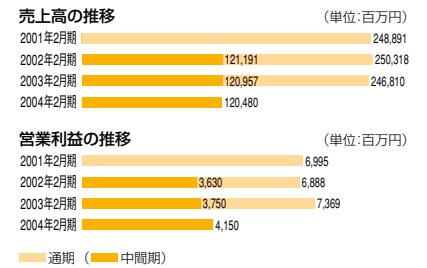
■ 当期総売上における構成比



ディベロッパー事業

収益強化に向けて、積極的な改装と営業企画を展開。

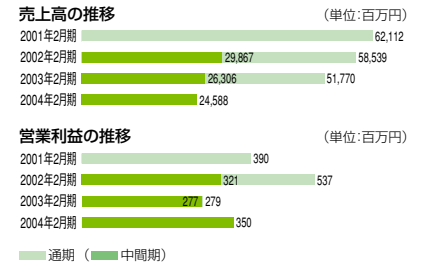
「ストアbyストア」の方針に基づき、マーケット状況に応じた各店政策のもと新規テナントの導入や客数の強化に取り組み、積極的な改装による増収増益の基盤作りを図ってまいりました。改装規模は新規導入122区画を含め218区画、21,646m²となり、ゾーン売上前年比は112.3%を達成しました。また、通年のギフトキャンペーンや夏のグランバザール、パルコ劇場の「30周年記念プログラム」などの営業企画の取り組みが奏功し、利益の増加に貢献しました。以上の結果、売上高は1,204億80百万円(前年同期比99.6%)とほぼ前年実績並みを確認し、営業利益は41億50百万円(前年同期比110.7%)となりました。



専門店事業

スクラップ&ビルドを中心に事業基盤の強化を継続推進。

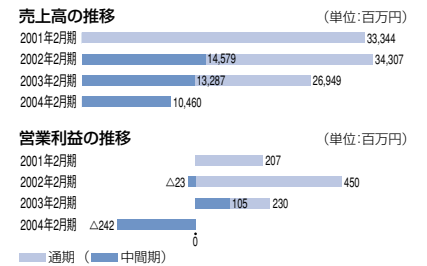
小売業界の環境が厳しい中、スクラップ&ビルドを中心とした事業基盤の強化、経営の効率化を継続推進する一方、株式会社ヌーヴ・エイは、ポーカフェイス事業の売上回復、ローズマリー・TIC-TAC事業の堅調な推移により当中間期計画を達成し、株式会社ウェイヴは、業界の低迷が続く中、新規出店いたしました店舗につきましては、堅調に推移しました。株式会社リプロの株式の90%を日本出版販売株式会社へ譲渡するなど、事業の再編を実施しました。以上の結果、売上高は245億88百万円(前年同期比93.5%)、営業利益は3億50百万円(前年同期比126.3%)となりました。



総合空間事業

経営・財務基盤を強化し、プロパティマネジメント事業の本格展開へ。

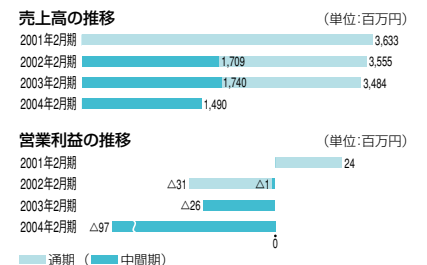
株式会社バルコスペースシステムズは、ビルマネジメント及びスペースプロダクト事業に経営資源を集中し、プロパティマネジメント事業への取り組みを行いました。また、ホテル事業再編に伴いホテルメゾン軽井沢を売却しました。これに伴い固定資産売却損6億60百万円を計上しました。以上の結果、売上高は104億60百万円(前年同期比78.7%)、営業損失は2億42百万円(前年同期は営業利益1億50百万円)となりました。



カルチャー&IT等事業

パルコの顧客コミュニケーション機能強化とIT事業の競争力向上を図る。

専門的なIT運用技術を活用した顧客コミュニケーションを実現するため、2003年3月よりIT運用、顧客・PECカード企画業務をパルコから株式会社パルコ・シティへ移管しました。また、株式会社クレストンホテルは、ホテルの資産所有と運営を分離する事業再編を行いました。以上の結果、売上高は14億90百万円(前年同期比85.6%)、営業損失は97百万円(前年同期は営業損失26百万円)となりました。



(注)1. 当社は2001年2月期末より連結会計となり、同中間期については連結数字を記載しておりません。
2. セグメント別の業績における売上高には、営業収入が含まれております。

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期(第65期) 2003年8月31日現在	前中間期(第64期) 2002年8月31日現在	前期(第64期) 2003年2月28日現在
資産の部			
流動資産	33,607	40,534	41,688
固定資産	175,746	183,214	180,852
資産合計	209,354	223,749	222,541
負債の部			
流動負債	58,389	76,347	66,613
固定負債	91,648	88,470	97,042
負債合計	150,038	164,818	163,656
少数株主持分			
少数株主持分	3,604	3,946	3,674
資本の部			
資本金	25,892	25,892	25,892
資本剰余金	25,318	25,318	25,318
利益剰余金	5,609	4,132	5,189
その他有価証券評価差額金	△349	330	△506
為替換算調整勘定	△46	△132	27
自己株式	△712	△556	△712
資本合計	55,711	54,983	55,209
負債、少数株主持分及び資本合計	209,354	223,749	222,541

資産

子会社であった「リプロ」株式の売却によるたな卸資産などの減少ならびにホテル事業の再編による建物及び構築物などの有形固定資産の減少に伴い、前期に比べ131億86百万円減少しました。

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期(第65期) 自2003年9月1日 至2003年8月31日	前中間期(第64期) 自2002年9月1日 至2002年8月31日	前期(第64期) 自2002年3月1日 至2003年2月28日
売上高	143,117	146,399	297,614
売上原価	120,591	123,457	251,598
営業収入	804	838	1,605
営業総利益	23,330	23,781	47,622
販売費及び一般管理費	18,862	19,427	39,273
営業利益	4,467	4,354	8,348
営業外収益	367	439	934
営業外費用	794	1,001	1,954
経常利益	4,040	3,792	7,328
特別利益	446	540	923
特別損失	2,959	2,336	4,132
税金等調整前中間(当期)純利益	1,527	1,996	4,119
法人税、住民税及び事業税	1,962	241	590
法人税等調整額	△1,140	708	1,086
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△54	39	68
中間(当期)純利益	760	1,007	2,373

中間(当期)純利益

子会社株式の売却による特別利益を計上しましたが、店舗改装に伴う除却及びホテル事業再編に伴う特別損失を計上した結果、前年同中間期に比べ2億46百万円減少しました。

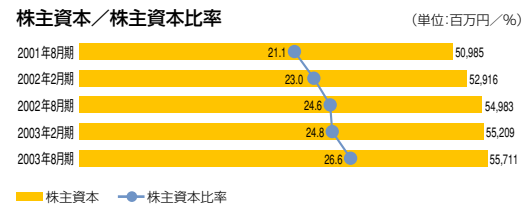
負債

経営資源の集中、経営効率の改善に努めた結果、短期借入金、長期借入金などの有利子負債は、前期に比べ110億31百万円減少しました。



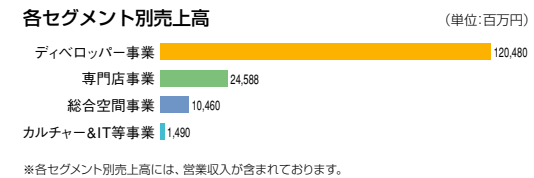
資本

中間純利益が増加したことにより資本合計は、前期に比べ5億1百万円増加しました。



売上高

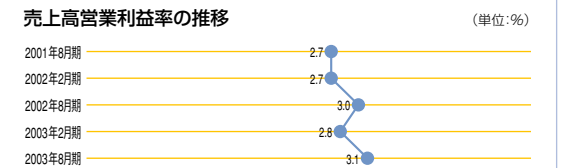
前期まで子会社であった「パルコンピューティーステムズ」株式の売却等に伴う専門店事業の売上減少及び総合空間事業における競合激化の影響により、売上高は、前年同中間期に比べ32億82百万円減少しました。



※各セグメント別売上高には、営業収入が含まれております。

営業利益

ディベロッパー事業の営業総利益の貢献ならびに人件費を中心とした販売管理費の圧縮に努めた結果、営業利益は、前年同中間期に比べ1億13百万円増加しました。



中間連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期(第65期) 自2003年3月1日 至2003年8月31日	前中間期(第64期) 自2002年3月1日 至2002年8月31日	前期(第64期) 自2002年3月1日 至2003年2月28日
(資本剰余金の部)			
I 資本剰余金期首残高	25,318	24,649	24,649
II 資本剰余金増加高	—	668	668
転換社債の転換による資本剰余金増加高	—	668	668
III 資本剰余金中間期末(期末)残高	25,318	25,318	25,318
(利益剰余金の部)			
I 利益剰余金期首残高	5,189	3,467	3,467
II 利益剰余金増加高	784	1,007	2,373
連結子会社の減少に伴う利益剰余金増加高	23	—	—
中間(当期)純利益	760	1,007	2,373
III 利益剰余金減少高	364	341	650
1配当金	307	301	610
2取締役賞与金	56	40	40
3自己株式処分差損	0	—	—
IV 利益剰余金中間期末(期末)残高	5,609	4,132	5,189

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期(第65期) 自2003年3月1日 至2003年8月31日	前中間期(第64期) 自2002年3月1日 至2002年8月31日	前期(第64期) 自2002年3月1日 至2003年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,662	7,771	10,788
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,972	△4,144	△7,162
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,809	△4,376	450
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△1	△0
現金及び現金同等物の増減額	△1,122	△751	4,075
現金及び現金同等物の期首残高	16,825	12,750	12,750
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	15,702	11,998	16,825

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前中間純利益15億27百万円に、非資金項目となる減価償却費や特別損失などを調整し、76億62百万円の収入(前年同中間期は77億71百万円の収入)となりました。

前年同中間期比1億9百万円減

(単位:百万円)

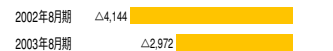


投資活動によるキャッシュ・フロー

店舗改装による有形固定資産の取得による支出及び受入保証金の減少などにより、29億72百万円の支出(前年同中間期は41億44百万円の支出)となりました。

前年同中間期比11億71百万円増

(単位:百万円)

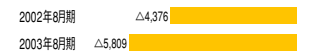


財務活動によるキャッシュ・フロー

有利子負債の圧縮を進めたことにより、58億9百万円の支出(前年同中間期は43億76百万円の支出)となりました。

前年同中間期比14億32百万円減

(単位:百万円)



中間貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期(第65期) 2003年8月31日現在	前中間期(第64期) 2002年8月31日現在	前期(第64期) 2003年2月28日現在
資産の部			
流動資産	23,493	21,622	26,036
固定資産	175,016	178,083	175,535
資産合計	198,509	199,706	201,572
負債の部			
流動負債	49,077	54,266	47,816
固定負債	90,158	86,250	95,018
負債合計	139,236	140,517	142,834
資本の部			
資本金	25,892	25,892	25,892
資本剰余金	25,318	25,318	25,318
利益剰余金	9,110	8,190	8,686
その他有価証券評価差額金	△334	344	△447
自己株式	△712	△556	△712
資本合計	59,273	59,188	58,737
負債及び資本合計	198,509	199,706	201,572

中間損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期(第65期) 自2003年3月1日 至2003年8月31日	前中間期(第64期) 自2002年3月1日 至2002年8月31日	前期(第64期) 自2002年3月1日 至2003年2月28日
売上高	119,517	120,003	244,936
売上原価	104,849	105,689	215,926
営業収入	830	889	1,768
営業総利益	15,498	15,203	30,778
販売費及び一般管理費	11,400	11,460	23,407
営業利益	4,098	3,742	7,371
営業外収益	202	254	566
営業外費用	612	697	1,584
経常利益	3,688	3,298	6,352
特別利益	363	106	455
特別損失	2,443	2,268	4,182
税引前中間(当期)純利益	1,608	1,137	2,625
法人税、住民税及び事業税	1,824	11	271
法人税等調整額	△1,003	530	952
中間(当期)純利益	787	595	1,401
前期繰越利益	630	652	652
中間配当金額	—	—	309
自己株式処分差損	0	—	—
中間(当期)未処分利益	1,417	1,247	1,744

広島PARCOをはじめ、積極的な大規模改装を推進。

広島PARCOは、新館オープンの2001年9月から2003年7月まで23ヶ月連続増収を継続しており、'02年秋に続き'03春も3,000m²クラスの積極改装を推進し、本館・新館ともに、2ヶ月増収を記録。引き続き、今秋も『攻めの改装』によって「中・四国NO.1のファッションビル」のポジションのさらなる充実を図っています。また、渋谷PARCO、札幌PARCO、名古屋PARCO、宇都宮PARCOほかにおいても積極的に改装をすすめ、当中間期は全店で新規出店122テナントを含む218区画21,646m²を改装し、ゾーン前年比112.3%を達成しています。



広島PARCO

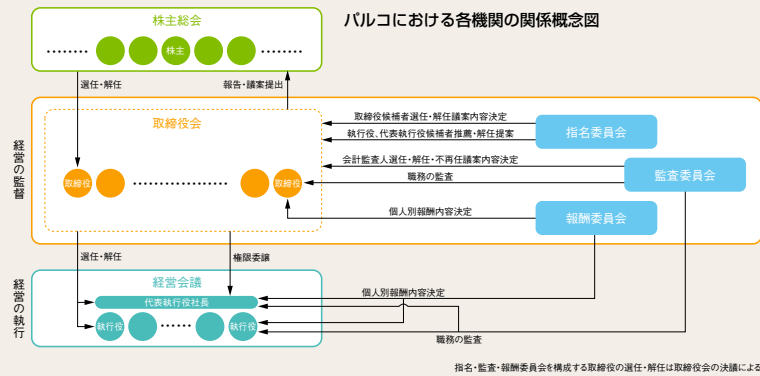
南九州最大の街づくり—西鹿児島駅ビル開発に参画。

2004年春に部分開業する九州新幹線の停車駅に隣接する約10,500m²の敷地に、営業面積40,000m²、B1～6F計7層のフロアを建設する西鹿児島駅ビル開発は、映画館、フィットネスクラブ、屋上観覧車などを有する九州地区最大級の大型商業施設です。PARCOは、2000年9月にオープンした長崎駅ビルの「アミュプラザ長崎」に続き、JR九州からコンサルテーションを受託。地域のランドマークとなる商業施設計画を通じて、南九州の最大の街づくりに参画しています。



「委員会等設置会社」への移行について

PARCOは、2002年より進めてきた取締役会の改革をさらに一歩進め、2003年の商法改正を機に、2003年5月、第64期定時株主総会における承認を経て、「委員会等設置会社」に移行しました。社外取締役を中心に構成された「指名委員会」「監査委員会」「報酬委員会」がそれぞれ独立した組織として運営され、経営の透明性、健全性が確保されます。



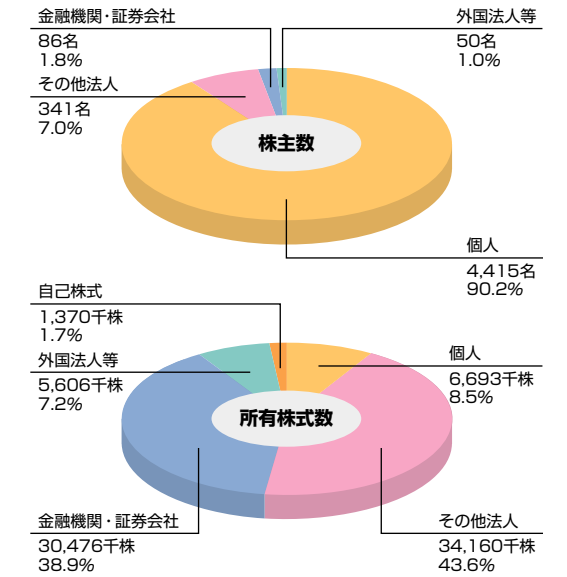
会社が発行する株式の総数 131,000,000株
発行済株式の総数 78,306,282株
株主数 4,893名

大株主(上位10名)

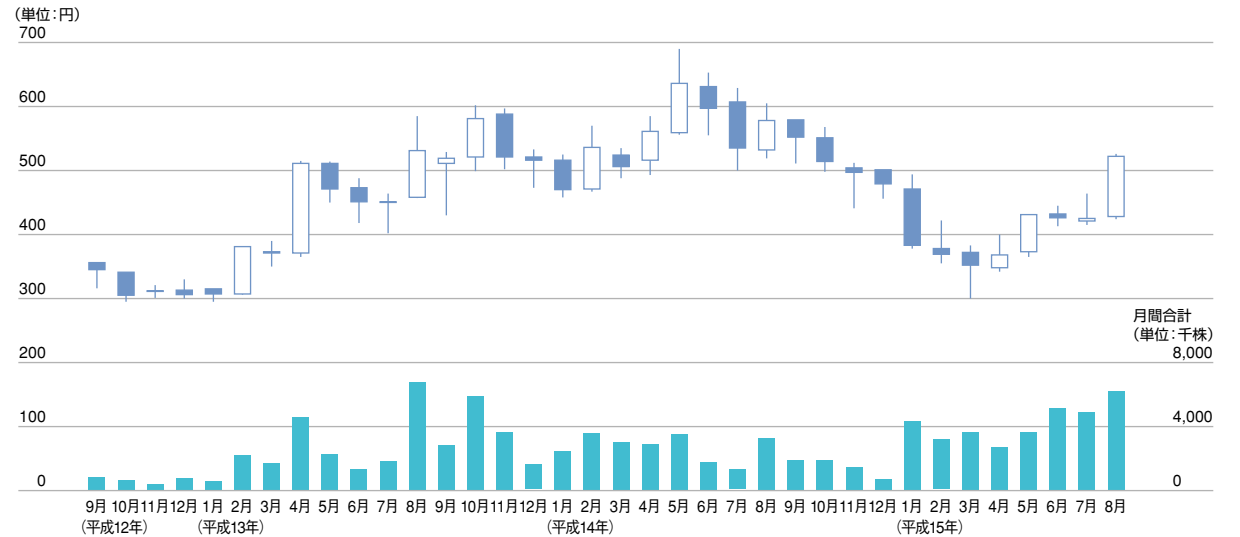
株主名	当社への出資の状況	
	所有株式数(千株)	議決権比率(%)
森トラスト(株)	19,179	25.11
(株)西武百貨店	8,163	10.69
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	8,120	10.63
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	6,501	8.51
(株)セゾンネットワーク	2,398	3.14
(株)みずほコーポレート銀行	1,899	2.49
(株)クレディセゾン	1,740	2.28
UFJ信託銀行(株)(信託勘定A口)	1,252	1.64
ザエスマリッツバンクエヌイロブソニス エル オムコス アカウト	1,230	1.61
(株)三井住友銀行	1,209	1.58

(注)当社は自己株式1,370千株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため上記の大株主から除いております。

所有者別分布状況



株価・出来高の推移



社名 株式会社 パルコ

本店所在地 東京都豊島区南池袋1-28-2
TEL:03-5391-8000

本部所在地 東京都渋谷区宇田川町4-3
TEL:03-3477-5731

設立年月日 1953年2月13日

資本金 258億9,258万円(2003年9月30日現在)

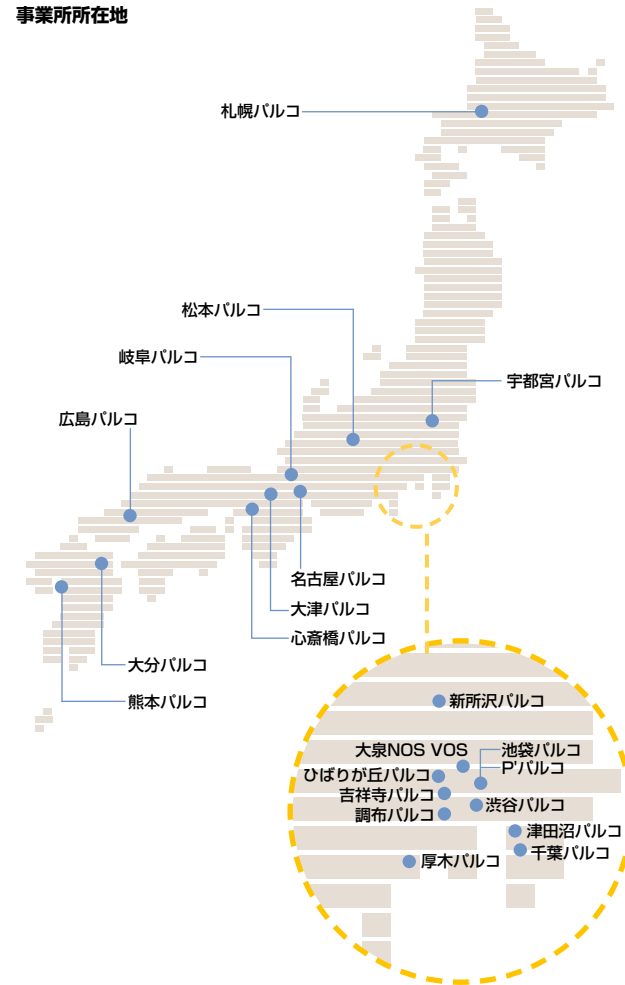
従業員数 561名(男性 339名 女性 222名)
(連結従業員数 1,792名)(2003年8月31日現在)

役員

取締役会議長兼代表執行役社長	伊東 勇
取締役兼代表執行役副社長	坂口 俊郎
取締役兼専務執行役	藤島 基照
取締役兼常務執行役	吉岡 猛
取締役兼常務執行役	小嶋 一美
取締役	大野 宗彦
取締役	松田 修一
取締役	土岐 敦司
取締役	宮澤 乗自
執行役	山田 潤一
執行役	新納 瑞穂
執行役	村田 真人
執行役	海永 修司
執行役	大倉 正美
執行役	平出 浩朗

(2003年10月1日現在)

事業所所在地



(注)大野宗彦、松田修一、土岐敦司、宮澤乗自の各氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役の候補者であります。

IRサイトをリニューアルしました。

2003年4月よりステークホルダーとの信頼感の醸成とコーポレートブランドの向上を目的として、IRサイトをリニューアルしました。これまでの迅速な情報開示に加え、サイトに訪れる方々の目的に合致した項目を色別に並べるなど、検索性を向上。IRイベント、財務データから株式情報にいたるまで内容は、盛りだくさんです。



<http://www.parco.co.jp/parco/corporate/>

株主ご優待 <PECカードインターナショナル> を発行いたします

(毎年2月末日・8月31日現在、1,000株以上所有の株主様を対象としております)



パルコでのショッピングが通年**5%OFF**

国内のパルコでのショッピングに、株主ご優待カードをご利用いただけますと、ご請求時にお買い上げ金額の5%を割引いたします。 ※一部割引の対象外となるショップがございます。

- ホテル宿泊料割引(クレストンホテル20%OFF等)要予約
- パルコ内の映画館入場料割引
- パルコミュージアム・パルコギャラリー入場料50%OFF(一部催し物を除く)
- パルコの各種カルチャースクール入会金割引

映画館ご招待券、ギャラリーパス券、カレンダーもお届けします

当社施設内の映画館ご招待券進呈

- 1,000株以上の株主様に.....2枚(年間4枚)
- 5,000株以上の株主様に.....6枚(年間12枚)
- 10,000株以上の株主様に.....10枚(年間20枚)



パルコギャラリーパス券進呈 (1,000株以上)

パス券の呈示で、1名様のご入場が無料となります。
※パルコギャラリーは改装のため、一時休館する場合があります。

パルコオリジナルカレンダー進呈

8月31日現在、1,000株以上の株主様にカレンダーを2点進呈いたします。

決算期 毎年2月末日

定時株主総会 毎年5月に開催

基準日 2月末日
(その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします)

配当金受領株主確定日 利益配当金 2月末日
中間配当金 8月31日

1単元の株式の数 1,000株

名義書換代理人 大阪市中央区北浜4丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)
(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417
(その他のご照会) ☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同取次所 住友信託銀行株式会社本店及び全国各支店

- 当社は、単元未満株式の買増制度を採用しております。詳しくは、上記名義書換代理人取次所、または、証券会社各社にお問い合わせください。
- 決算公告は、当社のホームページ上に貸借対照表及び損益計算書を掲載しております。(インターネットホームページ URL <http://www.parco.co.jp/>)